
ぞろ目

藤井秀央

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ぞろ目

【Nコード】

N5567E

【作者名】

藤井秀央

【あらすじ】

臨床心理士から語り継がれる話がある。精神患者Aの死ぬ寸前の物語。

(前書き)

この小説には、一部、常用漢字表（昭和五十六年告示）に含まれない漢字を使用しておりますが、間違いではありません。予め御了承下さい。

尚、それ以外での、誤字等ありましたら、ご指摘下さい。なくても、文章表現やストーリーの感想を頂けると、幸いです。

これは、ある臨床心理士から聞いた話である。

一人の精神を病んでいた患者、ここではAとしよう。

Aは、何もかも全てが、きちんと揃っていないと、精神的に不安定な状態に陥るそうだ。

それこそ、本棚の本の順が、一つ、たった一つ入れ代わっていてもだ。

また、髪の毛も同じく、真ん中から、綺麗に分けている。

さらには、服の皺でさえも、許せないらしく、暇さえあれば、あらゆる物の皺であったり、順序、汚れ等をいつもいつも直していた。

その考えは、数字にも当て嵌められた。入浴時間は、10分。睡眠時間は10時間。食事は1時間で、米粒一つ、いや、こびり付いた汁、孰の一滴さえも、残しはしなかった。

終いには、デジタル表示された時計を気にしだしてしまった。

ちょうど、昼下がりの2:35という数字が、妙に気に入らなかった。いや、正確に言えば、2:35.41であった。そこから、数字が綺麗に揃うまで、約30分……約ではいけない。24分19秒である。しかし、数字が揃わないまま、それだけの時間を待つことは、当然Aに出来るはずもなく、時間が経つにつれ、30000という数字の羅列ですら、気に入らなくなった。33333でなければならぬ、と思いはじめた。

そうになると、3時ちょうどまで待ったとしても、さらに、33分33秒待たなければならぬ。

既に、Aの精神は、白虎の爪痕程に、深く傷付けられ、その状態から33分33秒待つことは、不可能であった。

ついに、Aはこのようなことを、口走りはじめた。

「30627が襲ってくる」

「30858が襲ってくる」

「31146が襲ってくる……………」。

その後も同じようなことを、言っていた。

Aがこの世で最後に言った言葉はこれである。

「333332が襲ってくる」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5567e/>

ぞろ目

2011年4月2日03時15分発行